



平成 28 年 11 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社動力
(コード番号 1432 TOKYO PRO Market)
代表者名 代 表 取 締 役 鈴木竜宏
問合せ先 常務取締役管理本部長 藤本 進
T E L 0566-91-3880
U R L <http://www.doryoku.co.jp>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 5 月 16 日に公表いたしました、平成 29 年 3 月期通期業績予想を最近の業績動向を踏まえ下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円未満切捨て)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|--------------------------------|-------|------|------|------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) | 2,506 | 35 | 35 | 21 | 10.16 円 |
| 今回修正予想 (B) | 2,690 | △95 | △93 | △94 | △45.50 円 |
| 増減額 (B - A) | 184 | △130 | △128 | △115 | — |
| 増減率 (%) | 7.3 | — | — | — | — |
| (ご参考) 前期通期実績 (平成 28 年 3 月期) | 932 | △9 | △25 | △21 | △10.49 円 |

2. 修正の説明

太陽光発電システム市場は引き続き市況低迷が続いております。売上高につきましては、同業他社による産業用市場から住宅市場への回帰により競争が激化したことから、当社の住宅用施工業務が減少しました。しかし、環境商材販売としての産業用太陽光の日本製モジュールの価格が下がったことで、販売競争力が生まれ、大型物件のモジュール仕様変更となり、卸業としての売上が増加しました。

一方、利益面では、太陽光発電の買取価格が、他の発電方式と比べると高く、年々、固定買取価格の引き下げが国策として実施されることで、市場の縮小が加速し、同業他社との競争が更に激化となり、利益率が低下致しました。

このような中で、企業付加価値と競争力をつけるために、平成28年2月18日に公表いたしました、当社と、当社の子会社である株式会社動力（旧社名 TAK グリーンサービス株式会社、東京都中央区）及び株式会社動力（愛知県安城市）、並びに有限会社大香電工（愛知県西尾市）の4社合併をしました。しかしながら、短期間の業容の変更に伴い、会計システムの変更費用、事業所の統廃合による費用の発生が想定を上回るなど、販売管理費が増加したことにより、予想を下回る見通しとなりました。

以上